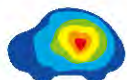




第43回
東京モーターショー2013
主催者テーマ事業

SMART MOBILITY CITY 2013





世界一のテクノロジーモーターショーを めざす“東京モーターショー”が 「次世代自動車とそれを取り巻く 先進の社会システム」を展望します。

近年、地球環境及び資源に対する国際的な関心の高まりから社会のエネルギーマネジメントが注目されています。また情報通信、特にモバイルコミュニケーションの発展は著しいものがあります。この大きな時代の潮流は、自動車産業を取り巻く社会システムに大きな変化をもたらしています。

この大きな変革の中、「世界はクルマで変えられる」をテーマにした、第42回ショー（2011年開催）では、「世界一のテクノロジーモーターショーへ」のスローガンのもと、世界に向けた情報発信力で“存在感”のある国際モーターショーを目指して、初めてSMART MOBILITY CITY 2011を実施いたしました。

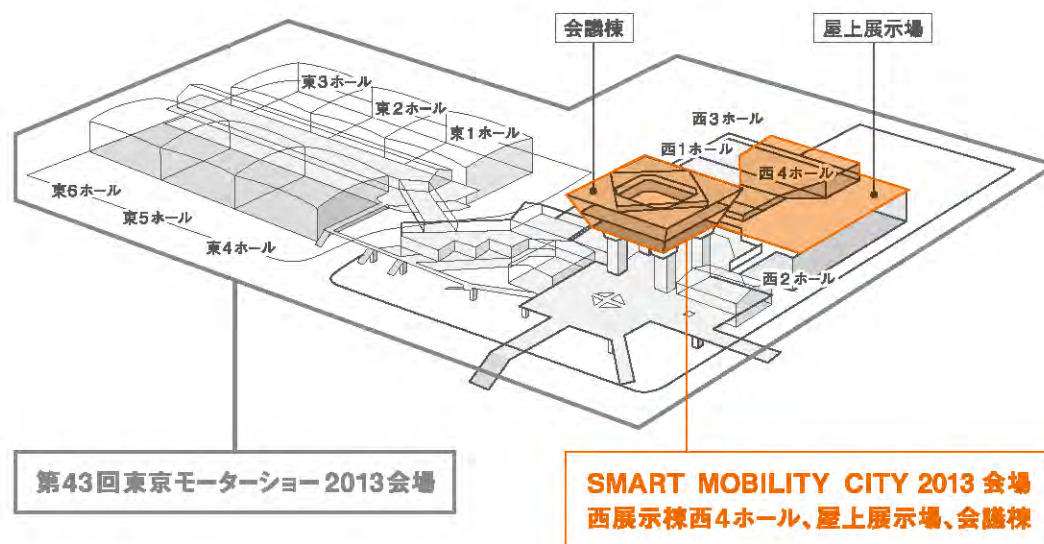
同事業はクルマを単体として捉えるだけではなく、自動車関連産業、エネルギー関連産業、環境関連産業、住宅・都市関連産業、情報通信関連産業、流通サービス産業など多様な側面から知恵と技術を結集し、議論を交わし、次代の新たな価値ある社会システムを先見することによって、新たな産業・市場の可能性と実現性を世界に向けて発信する場としたいと企図したものです。

その結果、これまで東京モーターショーには出展されていなかった、住宅・通信・素材など多種多様な業界から35社・団体の参加をいただき、170小間の出展に加え、自動運転のデモンストレーションや次世代自動車のテストライド、会期中に開催した2つの国際シンポジウムも好評を博し、クルマを核にしたスマートコミュニティ分野及びITS分野における日本の技術の先進性を国内外に発信することができました。

前回の評価を踏まえ、「世界にまだない未来を競え。」をテーマに掲げる第43回東京モーターショー2013においても、SMART MOBILITY CITY 2013を開催し、「次世代自動車とそれを取り巻く先進の社会システム」をより深く、より分かりやすく、紹介します。クルマが情報通信やエネルギーなどの社会システムとネットワークの重要な一端を担うことで、暮らしの“安全・安心”を向上させ、“利便性・快適性”の充実をもたらすと共に、低炭素社会の実現に貢献していくことや、業種業態の枠を超え、幅広い企業の交流と新たな産業・市場が創造される可能性と現実性を、理解・実感していただける場といたします。

また、次代のモビリティが実現する「社会、生活、夢」をも、専門家・企業経営者だけではなく、東京モーターショーに来場される国内外の一般のお客様にも「見て、知って、体験して、楽しんで」いただくことを通して訴求を図ると共に、国内外のメディアを通じて、自動車産業ならびにそれを取り巻く関連産業の先進性を、発信してまいります。

本事業の趣旨をご理解・ご共感いただき、多彩な業種業態にて活躍される皆様にご参加賜りたく、よろしくご検討をお願いいたします。





KURUMA NETWORKING

くらしに、社会に、つながるクルマたち

安全・安心、便利で楽しい移動手段として、また確かで効率的な輸送手段として、

人々のくらしを、産業を、社会を支えてきたクルマ。

このクルマの役割と価値は、これからも変わることはないでしょう。

しかし、地球環境及び資源に対する国際的な関心の高まりや情報通信環境の高度化、

ライフスタイルの変化など、社会では様々なそして大きな変革が起きています。

この時代の潮流の中、これからのクルマは、クルマ単体で存在するのではなく、

環境・エネルギー技術や情報通信技術などによって、

住宅をはじめとする私たちのくらしや社会と“つながり”、新しい役割と価値を持つと考えます。

そしてクルマは、私たちにとってもっと大切な友達として、

そして社会の重要な一員となっていくことに違いありません。

走る、曲がる、止まる…そして“つながる”クルマへ。

クルマの未来が、そしてくらしや社会の夢がここにあります。

展開領域(イメージ)

スマートハウスとクルマ

V2Hシステム(充電・蓄電・放電等)、HEMSなどを活用した「スマートハウス」とクルマが“つながる”ことによって生まれる先進の住宅システム、ネットワーク家電、そして新たなライフスタイル。

スマートコミュニティとクルマ

次代の環境・エネルギー都市システム「スマートコミュニティ」における家庭から都市・地域までのエネルギーシステムと“つながる”クルマがもたらす新しいエネルギーソリューション。

ICTとクルマ

最先端の情報通信技術により人と道路とクルマが“つながる”ことで生み出される新しい交通システム、自動走行システム、プローブ情報活用、情報提供サービスなど。

都市生活とクルマ

防犯や防災、医療・福祉、流通サービス、エンターテインメント、カルチャーなど、暮らしと“つながる”新しいクルマの役割や楽しみを創出する技術・製品・サービス。

新技術・新素材とクルマ

各種部品の技術革新、希少金属の代替化や新素材デバイス、軽量化素材、リサイクル素材、環境制御素材など新しい技術や素材と“つながる”ことによってもたらされる新しいクルマの可能性。

感性・デザインとクルマ

パワートレインの多様化によって生まれる新しいクルマや人々の身体特性、ライフマネジメント、趣味・嗜好など、個性や感性や夢と“つながる”ことによって生まれる新しい移動システムなど。





開催概要

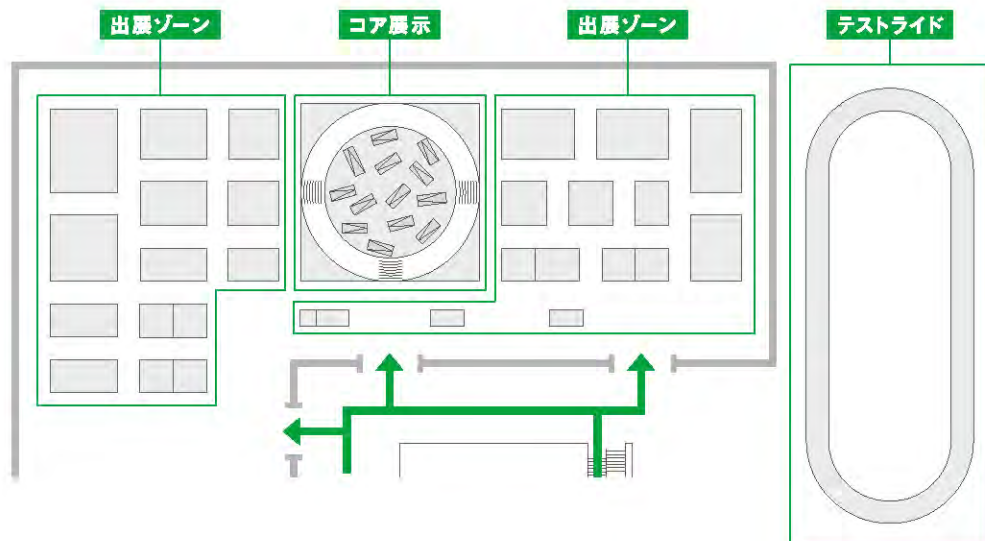
- 名 称** 第43回東京モーターショー2013 主催者テーマ事業
SMART MOBILITY CITY 2013(スマートモビリティシティ2013)
- テ ー マ** KURUMA NETWORKING … 暮らしに、社会に、つながるクルマたち
- 会 場** 東京ビッグサイト(西4ホール及び屋上展示場/会議棟)
※「第43回東京モーターショー2013」内
- 開催期間** 2013年11月22日(金)～12月1日(日) 10日間
(報道関係者招待日 11月20日(水)、21日(木)/特別招待日 11月22日(金))
- 主 催** 一般社団法人 日本自動車工業会

実施内容 (A)エキシビション
「KURUMA NETWORKING … 暮らしに、社会に、つながるクルマたち」というテーマを、分かりやすく紹介する「コア展示(主催者実施)」と、それを具現化する最先端の製品/技術/システム/サービスをプレゼンテーションする「先進技術・製品展示(民間企業・関連団体出展)」。

(B)テストライド(体験試乗会)
「KURUMA NETWORKING … 暮らしに、社会に、つながるクルマたち」というテーマを、実際に国内外の次世代自動車モデルの試乗、自動運転等の最先端研究のデモンストレーションならびに最新のテレマティクス・システムを通して体験。

(C)カンファレンス
「KURUMA NETWORKING … 暮らしに、社会に、つながるクルマたち」をテーマに、最先端の技術開発動向や具体的な導入事例等について、国内外の専門家・技術者・企業経営者による講演、セミナーの他、キッズ向けワークショップなどを開催。

会場構成イメージ





日本発、世界へ!

次世代自動車を核とした新しい社会システムをテーマに 企業との多彩な共創が新しいビジネスを創造・発信!

SMART MOBILITY CITY 2013は、クルマが人やくらしや、社会に“つながる”ことによって、私たちの生活にどのような喜びと価値が創造・提供できるか、ということを目指している事業です。そのためには、自動車産業のみならず、業種業態の枠を超えた幅広い企業の参画が必須であると考えます。皆様の技術や製品をご紹介いただきながら、新しいくらしの夢や社会の未来を語り合うことで、新しいビジネスの可能性と広がりを発信していきたいと考えます。

今までにない、全く新しいテーマによる世界唯一の展示会

「次世代自動車とそれを取り巻く先進の社会システム」というテーマは、従来の環境・エネルギー関連の展示会や情報通信関連の展示会などとは異なり、社会基盤のひとつである自動車を核とした次代の社会を包括的に展望する全く新しいアプローチの展示会であり、企業の新しい発想・可能性そして夢を提示するものと考えます。

国内外の先進企業・諸機関の結集

本テーマは世界中の様々な企業や団体、行政が目玉、日々新たな製品・技術・システム・サービスが開発・提供されている分野です。その先進の企業・諸機関が結集し、交流し、具体的な取り組みや将来的ビジョンそして豊かな夢を広く世界にアピールすることにより、新たな自動車と社会システムの提案につなげ、導入の機会を創出します。世界の最新テクノロジーが集結する場、それが SMART MOBILITY CITY 2013です。

新しいビジネスモデルの発見・創造

次世代自動車を核とした新しい社会システムは、新たなビジネスを創造するものと確信します。新たなビジネス創造を目指す先進の企業が一堂に会することで、次代の戦略・技術の最新動向を把握できると同時に、新たなマーケットの可能性を発見することも、新たなパートナーを獲得することもできるでしょう。

80万人を超える“お客さま”との対話

東京モーターショーは、専門家はもちろん一般の方々も数多く来場される国内最大規模の展示会です。第43回東京モーターショー2013においては、前回と同様、様々な動員・集客活動を実施し、80万人を超える来場者を目指しています。その多くの人々が、最先端の製品・技術・システム・サービスに触れ、確かめ、体験していただくことで、出展企業の先進性と将来性を感じていただける場となります。

世界マーケットへの情報発信

東京モーターショーは、世界五大ショーのひとつとして、延べ1万人以上の国内外プレスが取材し、世界に向けて多くの情報を発信する巨大なメディアです。本事業は、世界に注目される次世代自動車と社会システムの新たな関係性を展望するプログラムとして、報道を通じて世界の様々な企業や行政などに強くアピールするものと考えます。





事業概要

1 エキシビジョン

次世代自動車が暮らしを、街を、社会を変える。

国内外の多彩な企業が先進技術を、製品を携え、一堂に集う。

前回のSMART MOBILITY CITY 2011は、第1回目の開催ということもあり、本事業の企図・概念(=新しいクルマ社会の可能性)を包括的に理解していただくことを主眼として実施いたしました。その実績と評価を踏まえ、今回のSMART MOBILITY CITY 2013は、より深い具体的事例や製品、技術、システム、サービスを参加性/体験性の高いプログラムにして展開していきます。

場 所 東京ビッグサイト(西4ホール) 6,840m²

内 容 1) 先進技術・製品展示ゾーン:

情報通信、環境・エネルギー関連の民間企業・関連団体・行政機関などの出展による最先端の製品/技術/システム/サービスのプレゼンテーション(200小間・50社程度を想定)

2) コア展示ゾーン:

主催者による「次世代自動車とそれを取り巻く先進の社会システム」を疑似体験する体感型展示

全体イメージ



1) 先進技術・製品展示ゾーン

2) コア展示ゾーン

1) 先進技術・製品展示ゾーン

コア展示ゾーン イメージ



2 テストライド

次世代自動車に乗って、明日のドライビングを体験しよう。

国内外の多様な先進EVやPHVを試乗し、次世代モビリティの魅力を体験していただきます。また、スマートコミュニティに象徴される、クルマに乗りながら様々な情報を検索・入手したり、遠く離れた人や車両と簡単にコミュニケーションできるテレマティクスの便利さを体感いただけます。

場 所 東京ビッグサイト・西展示棟屋上展示場 6,000m²

内 容 次世代自動車・ITSなどの試乗及び自動運転のデモンストレーションなど



3 カンファレンス

クルマが“つながる”とくらしが、社会が変わる？ 世界の英知が集い、共に語ろう、夢みよう。

カンファレンスは、次世代モビリティに関連する先進技術の開発動向や国際標準化を巡る国や地域・企業などの動向について、国内外の専門家・技術者・企業経営者の方々にご紹介いただきます。さらには、次世代モビリティ社会に対する期待や可能性について意見を伺う機会を設けます。新たなビジネスにつながる場として、国内外のキーパーソン・企業経営者との意見交換ができる専門家・技術者による技術セミナーなども開催します。またファミリー層に向けて、次代を担う子どもたちの夢を育むワークショップを開催します。

【カンファレンス概要】

会 場 東京ビッグサイト(主に会議棟)

定 員 開催テーマごとに設定

※詳細スケジュールは、別途お知らせいたします。

【テーマ例】

国際シンポジウム 「くらしに、社会に、つながるクルマたち」

技術セミナー 出展企業による技術・システムのプレゼンテーション
「クルマとつながる新しい社会システム」

ワークショップ 親子向け 「環境・エネルギー体験教室」

子ども向け 「ソーラーカーの組み立て体験」





SMART MOBILITY CITY 2013出展料

| | | |
|--------|---|--------------------------------------|
| ①ブース出展 | <p>東京モーターショー主催・共催団体正会員の場合</p> <p>【主催団体】 一般社団法人 日本自動車工業会</p> <p>【共催団体】 一般社団法人 日本自動車部品工業会 一般社団法人 日本自動車車体工業会 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会 日本自動車輸入組合</p> | <p>373,800円/小間 (消費税込)</p> |
| | <p>上記以外の場合</p> | <p>451,500円/小間 (消費税込)</p> |

※1小間=約9m²(2.97m×2.97m)

※展示、プレゼンテーションに伴い発生する光熱費等は、出展者にご負担いただきます。

※展示に関する詳細は「第43回東京モーターショー 2013規程」をご参照下さい。

| | |
|-----------|-----------------------|
| ②テストライド協賛 | テストライドに使用する次世代自動車のご提供 |
|-----------|-----------------------|

※参加資格は、第43回東京モーターショー 2013およびSMART MOBILITY CITY 2013出展者に限定されます。

※参加は無料です。

※協賛者は車両を提供し、車両のメンテナンスや説明員の配置、車両の輸送・搬入出とその費用、車両傷害保険料などを負担するものとします。

※テストライドへの参加お申し込みにつきましては、別途ご案内申し上げます。



開催までのスケジュール

| 内容 | 実施予定日時 | |
|--|---------------------|----------------------------|
| 出展募集案内発送 | 2012年 (平成24年) | 10月15日(月) |
| 出展募集説明会 | | 10月15日(月) |
| 出展申し込み締切日 | 2013年 (平成25年) | 2月8日(金) |
| 小間割り決定通知 | | 5月下旬 |
| 開催概要記者発表会 | | 10月下旬 |
| ※第43回東京モーターショー2013開催概要発表会時に、SMART MOBILITY CITY 2013の概要を併せてご案内します。 | | |
| 搬入期間 | 2013年 (平成25年) | 11月17日(日) 8:00~24:00 |
| | | 11月18日(月) 0:00~24:00 |
| | | 11月19日(火) 0:00~18:00 |
| 報道関係者招待日 (プレスデー) | | 11月20日(水) 8:00~18:00(予定) |
| | | 11月21日(木) |
| 開会式、特別招待日 | | 11月22日(金) 9:00~18:00 |
| 一般公開日 | | 11月23日(土) 月~土 10:00~20:00 |
| | | 12月1日(日) 9日間 日 10:00~18:00 |
| 搬出期間 | | 12月1日(日) 20:00~24:00 |
| | 12月2日(月) 0:00~18:00 | |

SMART MOBILITY CITY 2013 事務局

〒104-0045 東京都中央区築地1-11-10 TEL.03-5565-3170 FAX.03-5565-3174 E-mail: smc2013@motor-show.jp



